

キャラクター名
麻羅 秀

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ハヌマーン		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	15	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	恐怖	初期侵食率	33	%
出自	天涯孤独	経験	転校	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	8
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	3	0	0			3	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
懸命なる奉仕		0				対象3体 達成値+10 C値-1 ダイス+2個 攻撃力+10
		0				①+②+③+⑥ シナリオ3回 コスト11
懸命なる献身		0				対象3体 達成値+12 C値-1 ダイス+3個 攻撃力+12
		0				①+②+③+⑥ シナリオ4回 コスト11 侵食率100↑

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
仮初浅緋	P 連帯感	N 脅威		
クラスメイト	P 執着	N 恐怖		
霧谷雄吾	P 信頼	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
要の陣形	3	3	メジャー	-	3体	シンドローム	-	
効果: 対象を3体に変更 シナリオLv回								
導きの華	5	2	メジャー	視界	単体	RC/交渉	-	
効果: メジャーアクションの達成値+[Lv×2]								
エンジェルヴォイス	2	4	メジャー	視界	単体	交渉	-	
効果: メジャーアクションのC値-1 ダイス+[Lv]個								
力の法則	3	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: ラウンド1回 DR直前に使用し[Lv+1]Dの追加ダメージ								
妖精の手	3	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: ダイスの1つを10に変更 シナリオLv回								
ハードビート	5	2	メジャー	視界	-	交渉	-	
効果: 攻撃力+[Lv×2]								
無音の空間	★	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 自らの気配を完全に消し去る								
不可視の領域	★	-	メジャー	至近	特殊	自動	-	
効果: [Lv×1000]平方メートルの場所を隠蔽できる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「ごっ、ごめんっ・・・僕なんか、支部長で・・・」
「僕・・・霧谷さんの言うことなら、頑張っってやってみます」
「頑張っって！後一息で“日常”は守られるからっ！」

気弱な高校生支部長。
他人と会話するのが苦手と支部長という役柄は自身に合っていないと思っているが、それでも上からの、特に霧谷雄吾からの指示となると懸命に働く（ただし自分なりに）
エージェントへの指示やチルドレンの教育などを任せられることもあるが、相手が年上だなんて事態などザラで常にオロオロとした態度が威厳は皆無。
天使のような柔らかない声と領域を調節し多種多様なことに役立ってるのがオーヴァードとしての“力”である。

普段は外の人と接するのが怖いという理由で家か支部に籠っている。
好きな食べ物は甘いもので、時々UGNからの警告を無視し領域操作して自分の身を隠しつつパフェなどを食べに行くことも。
後1人でカラオケに行くのも好き。
ここならハヌマーンのエフェクトを披露したってバレないと思いきり上手している。

他者とのコミュニケーションはとにかく苦手。
よく言葉に詰まるし、ちょっと強く叱られると弱気になるし、すぐ自分が悪いと思ってペコペコし出すし。
家族や学校の友人ともあまり関わらない模様。
旧友と疎遠になった今霧谷雄吾にだけ心を許し、多少はまともな会話を成立させられる。

戦闘時においては、直接相手を傷つける能力は皆無。
代わりに特殊な高音波を領域内の任意の対象に送り届けることで身体を活性化させることで支援するのが得意。